



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 耕也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長兼管理部長 (氏名) 千種 琢也

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

平成30年11月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,344	5.7	124	68.9	156	63.1	5	
30年3月期第2四半期	4,109	0.7	73	672.4	95		61	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 83百万円 (%) 30年3月期第2四半期 149百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	0.68	
30年3月期第2四半期	7.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	12,661	9,102	71.9	1,133.16
30年3月期	12,640	9,266	73.3	1,153.52

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 9,102百万円 30年3月期 9,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		2.50		10.00	12.50
31年3月期		2.50			
31年3月期(予想)				5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.0	350	69.9	400	56.9	280	94.4	34.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	8,625,000 株	30年3月期	8,625,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	592,043 株	30年3月期	591,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	8,033,054 株	30年3月期2Q	8,033,271 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外については、米国及び欧州において製造業の設備投資が高水準で推移し、景気の拡大は継続いたしました。一方で中国においては米中貿易摩擦の影響により製造業全般で設備投資に慎重な姿勢が見られましたが、E V関連などの成長市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の下で当社グループは、国内における新規市場開拓及び既存顧客への更なる取引深耕、マナック（上海）貿易有限公司が主体となり、中国をはじめとした海外における取引顧客数の拡大にグループが一体となり積極的に取組んだ結果、売上高、営業利益、経常利益については前年同四半期を上回りました。しかしながら、当社連結子会社である南京八幸薬業科技有限公司の持分譲渡契約を平成30年9月28日に締結したことから、当第2四半期連結累計期間末において減損損失を特別損失に計上いたしました。この影響等により親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,344百万円（前年同四半期比+235百万円、5.7%増）、営業利益は124百万円（同+50百万円、68.9%増）、経常利益は156百万円（同+60百万円、63.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、中国における環境規制強化を受け、顧客業界において原料調達元を中国品から国内品へ切り替える動きがあり、当社の電子材料製品や工業薬品の需要が増加いたしました。一方、一部治験薬原料において当第2四半期連結累計期間に需要が発生しなかったことなどから、医薬中間体などの販売は概ね前年同四半期を下回りました。また、連結子会社においては、売上高・セグメント利益とも前年同四半期と比較し増加いたしました。

その結果、売上高は1,931百万円（前年同四半期比+76百万円、4.1%増）、セグメント利益は277百万円（同+84百万円、43.4%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、電子材料部材や家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤などの需要が増加しており、これに対応するため設備増強及び生産効率化を実施いたしました。また、原料価格や輸送費の高騰に対して価格転嫁を進めていることが一部寄与したことから、売上高・セグメント利益とも前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は1,887百万円（前年同四半期比+119百万円、6.7%増）、セグメント利益は239百万円（同+16百万円、7.5%増）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析用液剤の原料は安定した国内需要を維持しており、またディーゼル車の尿素SCRシステムに使用されるAdBlue®の販売数量が増加したことから、売上高は前年同四半期と比較し増加いたしました。しかしながら、相対的に利益率の低い製品の売上割合が増加したことにより、セグメント利益は前年同四半期と比較し減少いたしました。

その結果、売上高は526百万円（前年同四半期比+39百万円、8.1%増）、セグメント利益は48百万円（同△12百万円、20.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて20百万円増加し、12,661百万円となりました。これは主に、連結子会社である南京八幸薬業科技有限公司に係る有形固定資産の減損実施により固定資産が減少した一方で、販売に備えた棚卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて184百万円増加し、3,558百万円となりました。これは主に、連結子会社である八幸通商株式会社による南京八幸薬業科技有限公司の持分譲渡に係る繰延税金負債を計上したこと、及び原材料仕入等に伴う買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて163百万円減少し、9,102百万円となりました。これは主に、南京八幸薬業科技有限公司に係る有形固定資産の減損実施により利益剰余金が減少したこと、及び株価変動によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,718,143	1,361,361
受取手形及び売掛金	3,188,137	3,238,426
金銭の信託	1,255,000	1,300,000
商品及び製品	1,148,319	1,329,883
仕掛品	396,238	472,198
原材料及び貯蔵品	425,793	412,669
その他	178,288	327,038
貸倒引当金	△2,757	△2,981
流動資産合計	8,307,163	8,438,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	760,307	734,818
機械装置及び運搬具(純額)	497,372	448,071
土地	743,918	743,918
建設仮勘定	89,061	73,428
その他(純額)	98,103	91,553
有形固定資産合計	2,188,764	2,091,791
無形固定資産	2,864	92,826
投資その他の資産		
投資有価証券	1,827,602	1,840,625
関係会社長期貸付金	101,600	—
繰延税金資産	5,633	—
その他	207,918	198,196
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,142,155	2,038,222
固定資産合計	4,333,784	4,222,840
資産合計	12,640,948	12,661,436

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316,089	1,497,221
短期借入金	921,928	915,450
未払法人税等	32,748	53,495
賞与引当金	120,159	124,539
その他	594,988	591,534
流動負債合計	2,985,913	3,182,241
固定負債		
長期借入金	270,146	140,424
繰延税金負債	61,507	142,050
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
その他	2,255	39,364
固定負債合計	388,638	376,568
負債合計	3,374,551	3,558,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,385,213	5,299,380
自己株式	△244,235	△244,321
株主資本合計	8,846,327	8,760,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,428	258,110
繰延ヘッジ損益	△2,454	4,616
為替換算調整勘定	136,094	79,491
その他の包括利益累計額合計	420,068	342,218
純資産合計	9,266,396	9,102,627
負債純資産合計	12,640,948	12,661,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,109,294	4,344,531
売上原価	3,272,387	3,411,682
売上総利益	836,907	932,849
販売費及び一般管理費	762,992	808,012
営業利益	73,914	124,836
営業外収益		
受取利息	1,534	1,540
受取配当金	14,923	17,437
受取ロイヤリティー	2,829	2,370
その他	10,931	25,177
営業外収益合計	30,219	46,526
営業外費用		
支払利息	5,181	5,109
為替差損	2,382	7,988
その他	653	1,789
営業外費用合計	8,217	14,887
経常利益	95,916	156,474
特別利益		
固定資産売却益	212	—
投資有価証券売却益	5,326	3,545
特別利益合計	5,539	3,545
特別損失		
固定資産除却損	285	3,813
投資有価証券売却損	1,336	489
減損損失	—	68,484
特別損失合計	1,621	72,787
税金等調整前四半期純利益	99,833	87,232
法人税、住民税及び事業税	26,747	39,626
法人税等調整額	11,627	53,107
法人税等合計	38,374	92,734
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,458	△5,501
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	61,458	△5,501

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,458	△5,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,852	△28,318
繰延ヘッジ損益	2,134	7,070
為替換算調整勘定	19,022	△56,602
その他の包括利益合計	88,009	△77,849
四半期包括利益	149,467	△83,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,467	△83,351
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,833	87,232
減価償却費	138,530	144,074
減損損失	—	68,484
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,814	4,380
受取利息及び受取配当金	△16,458	△18,978
支払利息	5,181	5,109
有形固定資産除売却損益(△は益)	72	3,813
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,989	△3,055
売上債権の増減額(△は増加)	△6,565	△50,844
たな卸資産の増減額(△は増加)	△259,679	△248,476
仕入債務の増減額(△は減少)	321,176	182,623
その他	△9,166	△48,146
小計	272,748	126,216
利息及び配当金の受取額	16,465	18,967
利息の支払額	△5,181	△5,109
法人税等の支払額	△102,628	△21,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,404	119,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△135,200	△215,109
定期預金の払戻による収入	135,196	137,203
有形固定資産の取得による支出	△88,498	△128,153
有形固定資産の売却による収入	212	—
投資有価証券の取得による支出	△68,644	△94,220
投資有価証券の売却による収入	72,428	43,560
貸付金の回収による収入	250	250
金銭の信託の取得による支出	△800,000	△200,000
金銭の信託の解約による収入	—	500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884,254	43,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△104,635	△66,495
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△119,724	△69,704
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△30,154
自己株式の取得による支出	△40	△86
配当金の支払額	△40,166	△80,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,566	△246,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,676	△5,501
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△906,739	△89,688
現金及び現金同等物の期首残高	2,317,823	2,315,713
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	45,054	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,456,138	2,226,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,854,882	1,767,925	486,486	4,109,294
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,854,882	1,767,925	486,486	4,109,294
セグメント利益	193,782	223,037	61,834	478,654

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	478,654
全社費用(注)	△404,740
四半期連結損益計算書の営業利益	73,914

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,931,314	1,887,037	526,178	4,344,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,931,314	1,887,037	526,178	4,344,531
セグメント利益	277,947	239,827	48,912	566,687

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	566,687
全社費用(注)	△441,850
四半期連結損益計算書の営業利益	124,836

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。